



第 6 回・第 7 回での指摘事項への対応について



内閣府 (防災担当)

避難生活の環境変化に対応した支援の実施に関する検討会 (第 8 回)
令和 6 年 5 月 2 0 日 (月)

避難者等の状況の把握における標準的な項目について





第6回・第7回での意見

- ・世帯の基礎情報と、個人的な内容のものとの整理の仕方を今後詰めていくべき。世帯の中でも要配慮者がいる場合はこちらのシートを使うというような形で連動があるとよい。
- ・世帯で分かれて避難する場合もあるので、どこに誰がいるのかが分かるような様式であったほうがよい。
- ・特に発災直後～1日は、なるべく被災者の負担にならないように緊急的なものを聞くというので絞り込んだほうがよい。
- ・精神面について、他の項目では例えばデイサービスなどつなぎ先があるかどうかを確認されているが、精神面でも気分が落ち込むことがあったとしても相談する相手がいるかというところを聞いておくこと優先順位の判断ができる。
- ・日常生活の、例えば、食事、衣類の着脱、排泄、移動、意思疎通、判断、記憶力、こうしたもので一部介助が必要なのか、全介助なのか、自立なのか、という項目もあるとよい
- ・ペットの状況や、高齢者、子供、女性、障害者、外国人の方々への聞き取りに際してどういった項目が必要なのかということも、もし付け加えるものがあればお願いしたい。
- ・今後の生活再建のところ「自宅に居住」という選択肢を選んでいても、本当に生活できる状況なのか心配なケースがある。家屋の被害状況の部分と連動するところを丁寧に何らかの形で手が加えられるとよいのではないかと。
- ・ライフラインについて、給湯器とかエアコンという項目があるが、「3. 現在の生活環境と健康面について」で、ライフラインに係る質問との関連で丁寧なフォローの質問があるといい。例えば暖房器具とか暖が取れるような状況になっているかなど。
- ・調査をするタイミングについて、現案のA、B、Cは早い段階に寄っている。「発災直後～1日」「3日～」というように区分けして情報を収集するのはかなり厳しい。こういう情報把握が必要になってくるのは、避難所に移るタイミング、避難所から仮設住宅に移るタイミング、仮設住宅から復興公営住宅に移るタイミングなどで行われるといい。
- ・情報収集のタイミングについて、できれば、「個人情報利用目的」の表の利用目的のタイミングと併せて情報収集ができると、情報の説明や活用もやりやすくなるのではないかと。
- ・平時の情報も活用できる部分が多くある。例えば介護の状況はサービス利用台帳に入っている。災害時に全部取るという発想だけでなく、その情報をどう使うのかも重要。
- ・基礎情報については変更はないと思うが、それ以降の項目については、時期・場合によっては3回調査をすることになる。例えば、風邪などがはまっている状況とか、幾つかの項目で支援が行き渡ってきたのかどうか分かるような項目があるので、調査の履歴が残るようにしておいたほうがよい。
- ・災害時には応援しなければならぬとなるが、支援のやり方が分からない、位置づけが不明瞭である、調査票もそろっていないということなので、国レベルで一歩本質化し、スタンダード化していくべきではないかと。地域ごとに取得したい情報も異なると思うが、そこは災害時に色々な調査票が出て来てその調整に時間と人手がとられるということがないように、最初からどこでも同じものを決めておくということを基本的な考え方にすることが最も重要なことではないかと。
- ・アセスメントや調査票については、やはり統一したほうがよいのではないかと。



■ 発災後の時間経過ごとに必要となる項目の整理について

- ・把握が必要な情報は、発災直後に確認すべきものから、発災から数日、数週間がたたないと明らかにならないものなど様々であることから、把握すべきタイミング目安を示すことも効果的と考えられる。
- ・項目の整理に当たっては、把握すべきタイミングについても併せて検討を行うこととし、3つの時期を設定する。

- A：発災直後～
- B：避難生活段階～
- C：仮設住宅への移行検討段階～

■ 把握すべき項目について

(1) 基礎情報

- ①記入者について
- ②自宅について
- ③世帯について
 - ⇒個別項目【医療関係情報】
 - ⇒個別項目【福祉関係情報】
- ④避難生活について
- ⑤支援状況について

(2) 被災状況

- ①ライフライン等の復旧状況
- ②家屋（建物）の被害状況
- ③被災後の片付け
- ④居住スペースの状況

(3) 現在の健康面・生活環境について

- ①健康状態の変化
- ②生活面の変化
- ③食物アレルギー
- ④食事の内容
- ⑤調理・食事環境
- ⑥冷暖房設備
- ⑦車の被災の有無
- ⑧移動の困難
- ⑨車・移動手段
- ⑩買い物
- ⑪生活費
- ⑫通勤
- ⑬通学

(4) 今後の生活再建について

- ①今後の住まい予定
- ②上記を進めるに当たっての課題
- ③罹災証明申請
- ④義援金
- ⑤その他支援金
- ⑥支援情報

(5) その他

- ①その他
(困っていること、伝えたいこと)
- ②対応者の所感



状況把握における標準的な項目（案）



（１）基礎情報 個別項目【福祉関係情報】

要配慮者氏名		
①訪問看護などの医療サービスを利用しているか	<input type="checkbox"/> 有〔利用している事業所名： _____〕 <input type="checkbox"/> 無	
②要介護（支援）認定を受けているか等	<input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> 介護区分不明 〔利用している居宅介護支援事業所等の名称： _____〕 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 事業対象者	
③障害者手帳を持っているか	<input type="checkbox"/> 有〔 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 <input type="checkbox"/> 療育手帳〕 〔具体的な障害の種類等： <input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 発達障害〕 <input type="checkbox"/> 無	
④デイサービス・ヘルパーなどの福祉サービスを利用しているか	<input type="checkbox"/> 有〔利用している事業所名： _____〕 → <input type="checkbox"/> 被災前と変わらず利用の見通しが立っている <input type="checkbox"/> 利用の見通しが立たない <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> 無	
⑤日常生活の介助が必要か	<input type="checkbox"/> 介助は必要ない <input type="checkbox"/> 一部介助が必要 → <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄 <input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 意思疎通 <input type="checkbox"/> 判断 <input type="checkbox"/> 全介助が必要 → <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄 <input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 意思疎通 <input type="checkbox"/> 判断	

※要配慮者が世帯内に複数いる場合は、要配慮者分記入 6

状況把握における標準的な項目（案）



(3) 現在の健康面・生活環境について			A	B	C
③食事への配慮	食物アレルギー	<input type="checkbox"/> 有〔誰が：原因食物：〕 <input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	摂食嚥下困難	<input type="checkbox"/> 有〔誰が：食形態：〕 <input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	疾病等による食事制限	<input type="checkbox"/> 有〔誰が：制限が必要な食品・栄養素：〕 <input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④食事内容	<input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 変化した 現在の内容 <input type="checkbox"/> 自炊している <input type="checkbox"/> 避難所等から物資（炊き出し、弁当等を含む）を得ている <input type="checkbox"/> インスタント食品が中心 <input type="checkbox"/> スーパー等のお惣菜が中心 <input type="checkbox"/> 外出が多い <input type="checkbox"/> その他〔 〕			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤調理・食事環境	<input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> カセットコンロを使用している <input type="checkbox"/> 食事を準備できる環境がない <input type="checkbox"/> 食事を準備する時間がない <input type="checkbox"/> 食事を準備する体力がない <input type="checkbox"/> やる気が起きない <input type="checkbox"/> その他〔 〕			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥冷暖房設備	<input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 冷房が使えない <input type="checkbox"/> 暖房が使えない <input type="checkbox"/> 給湯器が使えない <input type="checkbox"/> その他〔 〕		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦車の被災の有無	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧移動の困難	<input type="checkbox"/> 困難なし <input type="checkbox"/> 困難 →困難な理由 <input type="checkbox"/> 外出に手助けが必要 <input type="checkbox"/> 移動手段がない <input type="checkbox"/> 費用がかかる <input type="checkbox"/> その他〔 〕			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨車・移動手段	<input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> 親戚等の送迎 <input type="checkbox"/> 車両は元々保持していない <input type="checkbox"/> その他主な移動手段〔 〕			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩買い物	<input type="checkbox"/> 困難なし <input type="checkbox"/> 困難 →困難な理由 <input type="checkbox"/> 商店等が遠い <input type="checkbox"/> 買い物機会が少ない（移動販売車の頻度、場所等） <input type="checkbox"/> 商品が少ない・足りない <input type="checkbox"/> その他〔 〕			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑪生活費	<input type="checkbox"/> 就労している <input type="checkbox"/> 求職している <input type="checkbox"/> 年金 <input type="checkbox"/> 生活保護等の行政支援 <input type="checkbox"/> 仕送り等 <input type="checkbox"/> 預貯金 <input type="checkbox"/> その他			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑫通勤	<input type="checkbox"/> 困難なし <input type="checkbox"/> 困難あり〔具体的内容： 〕			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑬通学	<input type="checkbox"/> 困難なし <input type="checkbox"/> 困難あり〔具体的内容： 〕			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

調査票 (A: 発災直後～) イメージ



標準的な調査票項目 (A 項目)

記入日時	年 月 日 () 時
記入者の氏名	
記入者の生年月日	年 月 日 年齢: 歳 性別:
自宅住所	
連絡先	固定電話: 携帯電話:
自宅の形態	<input type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家・賃貸 <input type="checkbox"/> その他 []
現在の避難生活場所	<input type="checkbox"/> 避難所 [場所:] 誰が:] <input type="checkbox"/> 自宅 [誰が:] <input type="checkbox"/> 知人宅 [誰が:] <input type="checkbox"/> 車中泊 [場所:] 誰が:] <input type="checkbox"/> その他 [場所:] 誰が:]
世帯主の氏名	<input type="checkbox"/> 記入者と同様
世帯主の生年月日	年 月 日 年齢: 歳 性別:
世帯人数	(記入者含む) 名
世帯構成	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 乳児 <input type="checkbox"/> 幼児 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 妊産婦 (妊娠週数:) <input type="checkbox"/> 入院中の者 <input type="checkbox"/> 施設入所中の者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> ペット [種類:] <input type="checkbox"/> その他 []
要配慮者	<input type="checkbox"/> 世帯の中に医療的な支援が必要な方がいる →個別項目【医療関係情報】へ <input type="checkbox"/> 世帯の中に福祉的な支援が必要な方がいる →個別項目【福祉関係情報】へ
避難所以外の避難者等がある場合、避難所・支援拠点による支援の利用状況、必要とする支援 (又は利用予定)	<input type="checkbox"/> 利用している (利用している避難所・支援拠点の場所:) <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 応急給水 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 生活物資 <input type="checkbox"/> 入浴 <input type="checkbox"/> 各種支援情報 <input type="checkbox"/> 利用していない <input type="checkbox"/> 利用することが困難 <input type="checkbox"/> →必要な支援 <input type="checkbox"/> 応急給水 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 生活物資 <input type="checkbox"/> 入浴 <input type="checkbox"/> 各種支援情報
ライフライン等の復旧状況	<input type="checkbox"/> 全て復旧している <input type="checkbox"/> 復旧がまだのものがある (復旧していないものをチェック) <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> お風呂 <input type="checkbox"/> 給湯器 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> インターネット通信 <input type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 <input type="checkbox"/> 電子レンジ <input type="checkbox"/> エアコン <input type="checkbox"/> その他 []
家屋 (建物) の被害状況	<input type="checkbox"/> 家屋に極めて大きな被害があった (家が流れてしまった、家が倒壊した、家の上砂によって埋没したなど) <input type="checkbox"/> 家屋に修繕が必要な程度の大きな被害があった (瓦が落ちた、外壁がはがれたなど) <input type="checkbox"/> 家屋に被害があった <input type="checkbox"/> →被害の概況: [] <input type="checkbox"/> 被害はなかった
冷暖房設備	<input type="checkbox"/> 問題ない <input type="checkbox"/> 冷房が使えない <input type="checkbox"/> 暖房が使えない <input type="checkbox"/> 給湯器が使えない <input type="checkbox"/> その他 []
その他	例: 物資が足りない、家屋の再建について相談できていない、行政に説明会を開いてほしいなど、なるべく具体的な声を記入 (被災者が発言したものを記載)
対応者の所感	例: 見守りの必要性が高いと感じた場合や特に支援が必要と感じられる事項を記入 (被災者に対面した者が感じたことを記載)

個別項目【医療関係情報】

※要配慮者が世帯内に複数いる場合は、要配慮者分記入

要配慮者の氏名:	
既往歴・治療中、医療サポートの利用状況	<input type="checkbox"/> 持病がある [病名:] <input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器を利用している <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 人工透析 [<input type="checkbox"/> 血液透析 <input type="checkbox"/> 腹膜透析] <input type="checkbox"/> インスリン注射 <input type="checkbox"/> 抗凝固薬の定期的投薬 <input type="checkbox"/> 緊急性のある精神疾患 <input type="checkbox"/> 緊急治療歯科疾患 <input type="checkbox"/> 要緊急処置妊婦 [<input type="checkbox"/> 産科 <input type="checkbox"/> 非産科 合併症:] <input type="checkbox"/> 定期的投薬が必要 (現在、[中断・継続]) <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 降圧薬 <input type="checkbox"/> 血糖降下薬 <input type="checkbox"/> 向精神薬 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> → [医薬品名:]
かかりつけの医療機関名	

個別項目【福祉関係情報】

※要配慮者が世帯内に複数いる場合は、要配慮者分記入

要配慮者の氏名:	
訪問看護などの医療サービスを利用しているか	<input type="checkbox"/> 有 [利用している事業所名:] <input type="checkbox"/> 無
要介護 (支援) 認定を受けているか等	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> 介護区分不明 <input type="checkbox"/> [利用している居宅介護支援事業所等の名称:] <input type="checkbox"/> 無
障害者手帳を持っているか	<input type="checkbox"/> 有 [<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 <input type="checkbox"/> 療育手帳] <input type="checkbox"/> [具体的な障害の種類等: <input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 発達障害] <input type="checkbox"/> 無
デイサービス・ヘルパーなどの福祉サービスを利用しているか	<input type="checkbox"/> 有 [利用している事業所名:] <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 被災前と変わらず利用の見通しが立っている <input type="checkbox"/> 利用の見通しが立たない <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> 無
日常生活の介助が必要か	<input type="checkbox"/> 介助は必要ない <input type="checkbox"/> 一部介助が必要 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄 <input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 意思疎通 <input type="checkbox"/> 判断 <input type="checkbox"/> 全介助が必要 <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄 <input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 意思疎通 <input type="checkbox"/> 判断

個人情報の取得に当たっての利用目的の範囲について





第6回での意見

- ・個人情報の提供先として、**町内会や自治会長も入れてもいいのではないか。**
- ・個人情報の利用目的・提供範囲について、発災直後～避難所運営段階で自主防災組織の方に避難所運営をやっていただくことになるため、**自主防災組織も入れるべき。**
- ・「中長期的な被災者の支援」のとの提供先について、**警察、消防も必要。**
- ・色々なところに個人情報を出すということになるが、同意の様式も一緒に整える必要。あとはどこまで出すのか、きっちり示さないと、恐らく安心して自治体の皆さんが個人情報を出すことができないことになる。また、罹災証明書もそうだが、個人情報でも自治体に一回入るとその個人が引き出せないことがよく起こるので、個人情報の請求について対応を考える必要
- ・個人情報の利用について、例えば避難所を出る段階等、どこのフェーズまで提供するか、ある程度区切るべき。

個人情報利用目的・提供範囲



- 個人情報の保護と適切な利用のためには、情報を取得する際に、利用目的について適切に明示することが必要。
- 中長期的な被災者の支援を見据えて、地域の実情に応じ、利用目的と提供先を明示して個人情報を取得することを平時から検討しておくことが必要。

利用目的

発災直後～避難生活段階 行政関係

- ・ 自治体の関係部局
- ・ 保健師等
- ・ 自主防災組織 等
- ・ 訪問
- ・ 支援物資の提供
- ・ 支援情報の提供

- ・ 自治体の関係部局
- ・ 日本赤十字等医療関係者
- ・ 社会福祉協議会等福祉関係者
- ・ NPO等民間支援団体
- ・ 民生委員・児童委員
- ・ 町内会・自治会長 等

- ・ 自治体の関係部局
- ・ 社会福祉協議会等福祉関係者
- ・ 弁護士、建築士等の士業関係者
- ・ 警察・消防

発災直後～避難生活段階 官民連携による被災者支援

- ・ 訪問・見守り
- ・ 支援物資の提供
- ・ 支援情報の提供
- ・ 災害ボランティアの紹介 等

- ・ NPO等民間支援団体
- ・ 民生委員・児童委員
- ・ 町内会・自治会長 等

中長期的な被災者の支援 (災害ケースマネジメント)

- ・ 訪問・見守り
(アウトリーチ)
- ・ 自立・生活再建支援方策の検討 (ケース会議)
- ・ 心のケア活動
- ・ 避難者の健康管理
- ・ 支援情報の提供 等

提供先



（行政機関が使用する場合の例）

【情報の利用目的】

【期間】【支援内容】を行う目的に利用します。また、【支援内容】を実施するにあたり、内部での情報共有や【提供先】等へ情報提供を行う場合があります。

例) 避難所供与期間における今後の避難生活での訪問・見守り、支援物資の提供、支援情報の提供、災害ボランティアの紹介等の支援を行う目的に利用します。また、訪問・見守り、支援物資の提供、支援情報の提供、災害ボランティアの紹介等の支援を実施するに当たり、××市内部での情報共有や日本赤十字等医療関係者、社会福祉協議会等福祉関係者、NPO等民間支援団体、民生委員・児童委員、町内会・自治会長等へ情報提供を行う場合があります。

(参考) 個人情報保護法関係条文



(利用目的の特定)

第十七条 個人情報取扱事業者は、個人情報を取り扱うに当たっては、その利用の目的（以下「利用目的」という。）をできる限り特定しなければならない。

2 (略)

(利用目的による制限)

第十八条 個人情報取扱事業者は、あらかじめ本人の同意を得ないで、前条の規定により特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えて、個人情報を取り扱ってはならない。

2 (略)

3 前二項の規定は、次に掲げる場合については、適用しない。

一 法令（条例を含む。以下この章において同じ。）に基づく場合

二 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。

三～六 (略)

(第三者提供の制限)

第二十七条 個人情報取扱事業者は、次に掲げる場合を除くほか、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならない。

一 法令に基づく場合

二 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき。

三～七 (略)

2～6 (略)

(利用目的の明示)

第六十二条 行政機関等は、本人から直接書面（電磁的記録を含む。）に記録された当該本人の個人情報を取得するときは、次に掲げる場合を除き、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。

一～三 (略)

(利用及び提供の制限)

第六十九条 行政機関の長等は、法令に基づく場合を除き、利用目的以外の目的のために保有個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

2 前項の規定にかかわらず、行政機関の長等は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、利用目的以外の目的のために保有個人情報を自ら利用し、又は提供することができる。ただし、保有個人情報を利用目的以外の目的のために自ら利用し、又は提供することによって、本人又は第三者の権利利益を不当に侵害するおそれがあると認められるときは、この限りでない。

一 本人の同意があるとき、又は本人に提供するとき。

二 行政機関等が法令の定める所掌事務又は業務の遂行に必要な限度で保有個人情報を内部で利用する場合であって、当該保有個人情報を利用することについて相当の理由があるとき。

三 他の行政機関、独立行政法人等、地方公共団体の機関又は地方独立行政法人に保有個人情報を提供する場合において、保有個人情報の提供を受ける者が、法令の定める事務又は業務の遂行に必要な限度で提供に係る個人情報を利用し、かつ、当該個人情報を利用することについて相当の理由があるとき。

四 前三号に掲げる場合のほか、専ら統計の作成又は学術研究の目的のために保有個人情報を提供するとき、本人以外の者に提供することが明らかに本人の利益になるとき、その他保有個人情報を提供することについて特別の理由があるとき。

3・4 (略)

状況把握の主体の整理について





第6回での意見

- ・「情報収集の主体と目的について」で、避難所以外の目的がかなり限定されているように見える。例えばNPO・ボランティアは支援ニーズの把握ということで広い範疇で考えられるが、避難所の運営者は避難所外避難者の把握だけなのか。対象が物資支援を受ける者ということであれば、必要な物資数の把握は当然だろうという気も。例えば**社会福祉協議会は安否確認しか書いていないが、支援ニーズを聞くのも必要**。その辺の整理が必要。
- ・「情報収集の主体と目的について」で、社会福祉協議会に勤めている人間としても、**安否確認だけではなく、ニーズ把握も入ってくる**と思う。また、介護・障害福祉サービス事業者のところについても、入所については福祉サービスの利用者に対する継続的な福祉支援になるが、**在宅でサービスを利用されている方については、安否確認を行って、サービスの継続という形になっていくので、その辺りの項目も追記いただけるとありがたい**。
- ・「状況把握の実施体制の整理」で、平時から福祉サービスを受けている要配慮者は「高齢者、障害者、児童等」、平時は福祉サービスを受けていない要配慮者は「難病患者、外国籍の者、妊産婦等」と書いてあるが、**平時からサービスを受けていない高齢者もたくさんいる**と思うので、書き方を工夫したほうがいい。

情報収集の主体と目的の例について（第6回資料を一部修正）



避難所		避難所以外
避難所の運営者	対象：避難所に避難している者 目的：避難所の運営・管理、必要な物資数の把握	対象：避難所で物資支援を受ける者 目的：避難所外避難者の把握、必要な物資数の把握
DWAT	対象：避難所に避難している災害時要配慮者 目的：災害時要配慮者への福祉的支援の実施	
保健師	対象：避難所に避難している住民 目的：住民の健康管理	対象：地域住民 目的：住民の健康管理
介護・ 障害福祉サービス 事業者	— ※指定福祉避難所の運営主体となる場合がある	対象：福祉サービスの利用者 目的：利用者への継続的な福祉支援、在宅利用者の安否確認・継続的なサービスの提供
社会福祉協議会	—	対象：地域住民 (優先順位付けを行って実施する場合がある) 目的：安否確認、支援ニーズの把握
自治会・ 自主防災組織	— ※避難所に避難する場合、当該避難所の運営委員会の委員となるなど避難所運営に参画する場合がある	対象：自治会内の住民、隣近所 目的：自治会内部の共助による状況把握
NPO・当事者団体 ・ボランティア	対象：避難所内の避難者 目的：支援のニーズの把握	対象：在宅避難者等全般・平時からつながりのある 障害者の方等 目的：支援ニーズの把握



在宅・車中泊で生活する人

(ペットを飼育される方を含む)

平時から福祉サービス
を受けている
要配慮者
(高齢者、障害者、児童等)

平時は福祉サービス
を受けていない
要配慮者
(高齢者、障害者、児童、
外国籍の者、妊産婦 等)

要配慮者以外の者

アウトリーチによる状況把握

避難所・支援拠点に来訪した際に状況を把握

ICT (アプリ等) を活用した情報発信

担い手
福祉事業者/保健師

担い手
保健師/職能団体
(高齢者等把握) /共助

担い手
保健師/自助・共助

外部支援
NPO/災害ボランティア

車中泊避難者の支援について





第6回での意見

- ・ 車中泊は必ず発生すると皆さん仰っているがその通りであり、特に地方では日常の移動手段が車ということもあり、車中泊は発生せざるを得ない問題ではないか。そのため必ず対応を考えていく必要がある一方で車中泊避難者の状況把握はかなり難しく、車中泊をされる方は移動性が高く必ず決められたスペースにずっといる訳でもないため、そういった**流動性の高い情報をどこまで把握する必要があるのか**については、ある程度目安を立ておかなければならないのではないか。
- ・ 車中泊避難所を事前に公表し、周知しておくことが記載されているが、指定避難所と自主避難所の関係と同様に、車中泊避難所を指定すると、駐車場のキャパシティの問題や近くにコンビニがあるからといった様々な問題で、**指定されていないところにも、自主的な車中泊避難所が出てくるのではないか**。そうした自主的な車中泊避難所を明記し、把握に努めるといった記載があると良いと思っているが、どこまで記載するかについては議論が必要ではないか。車中泊避難場所を指定したとしても、どうしてもそれ以外の場所に車中泊をする人が必ず出るため、過去の災害においても多く発生しているが、そうした場所での車中泊をどう考えるか記載を考えた方がいいのではないか。
- ・ 車中泊避難については、**事前に公表したとしても、実際にはそれ以外の場所にも車中泊避難者は集まるのではない**か。
- ・ 自治体が用意した車中泊用の避難所以外で自然発生的に避難される方もいらっしゃると思うが、指定した車中泊の場所にいらっしゃる方については、避難所と同様に物資の提供や保健師の見守りができると思うが、**自然発生的に車中泊されている方については、そういったケアからこぼれ落ちる可能性があり心配**である。
- ・ 在宅避難者についても同じことが言えるが、避難所のアセスメントシートについては整備されているが、**車中泊用のアセスメントはないため、標準化していく必要があるのではない**か。災害が起こると雨後の筍のように様々なアセスメントシートが出てくるが、避難所については主体ごとに情報収集の目的が違うため標準化は難しいと思うが、国が絡み標準化できると、みんなで使える状況になるのではないか。



【ご指摘①】

- ・ 事前に公表された車中泊避難を行うためのスペース以外で災害時に車中泊避難を行っている避難者等の支援をどのように対応すべきか

【対応方針】

⇒ 車中泊避難を行うためのスペース以外で災害時に車中泊避難が行われている場合、こうした方の支援については、その状況把握や支援手法は、在宅避難者への支援の仕組みが適したものと考えられる。

〔 取組の例：アウトリーチによる状況の把握、車中泊避難者自らによる情報の登録
在宅避難者等の支援拠点における物資支援や支援情報の提供 〕

【ご指摘②】

- ・ 車中泊用のアセスメントシートについてどのように対応すべきか

【対応方針】

⇒ 「大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について」令和4年7月22日付け科発0722第2号大臣官房厚生科学課長他連名通知において、「施設・避難所等ラピッドアセスメントシート」が示されており、当該アセスメントシートに基づいて、災害時の避難所アセスメントが実施されている。

⇒ 車中泊避難を行うためのスペースのアセスメント調査票について、当該アセスメントシートの項目をベースに車中泊避難特有の事項を追加する形で作成してはどうか。

